

2-3 建設DXの推進

県土整備部

めざす姿

建設現場において、ICT等建設DXの活用による生産性の向上等を推進することにより、建設業の担い手確保等につながり、「地域の守り手」である地域の建設企業による社会資本の整備・維持管理や災害対応等が実施され、県民の皆さんの安全・安心が確保されている。

現状と課題

- 建設業は災害対応等、「地域の守り手」として、県民の皆さんの安全・安心の確保に重要な役割を担っているが、人口減少・高齢化の流れが加速する中、未来に存続していくには、担い手の確保が急務となっている。このため、新・担い手3法をふまえ策定した「第三次三重県建設産業活性化プラン」に基づき、引き続き、生産性の向上の取組を一層推進していく必要がある。

取組概要

- ICTの利用拡大や建設現場での遠隔臨場の推進

具体的な取組

- ICTを活用した工事割合の向上



ドローンによる起工測量



ICT建機施工状況

取組内容／目標項目

現状値(2022年)

目標値(2026年)又は実施スケジュール

ICT活用工事(土工)の実施率

65%



100%

※ICT活用工事(土工)の対象として発注された工事のうち、ICTを活用した工事の割合